

令和7年度第2回目石狩浜海浜植物保護センター運営委員会 議事録

- 1 日 時:令和8年2月6日(金)10時00分～
- 2 議 題:①令和7年度保護センター活動報告について
②令和8年度事業計画(案)
③その他
- 3 出席者:溝渕 清彦、長谷川 理、西川 洋子、圓谷 昂史、氏家 歴、松島 肇、鈴木 玲、
石山 優子
- 4 欠 席:小林 卓也
- 5 事務局:中野センター長、高橋、いしかり植物ラボ(内藤)

【事務局】

定刻となりましたので、令和7年度第2回石狩浜海浜植物保護センター運営委員会を開催させていただきます。松島委員がまだ参加されておられません、先に進めさせていただきます。本日はお忙しい中、ご出席いただきありがとうございます。当運営委員会事務局の中野と申します。本日の開催は対面とオンラインで開催しております。小林委員は体調不良のため欠席の報告をいただいております。

それでは議事進行について、溝渕会長にお願いして議事を進めてまいります。

【溝渕会長】

前回10月の委員会から期間が短いので大きな変更はないと思いますが、報告書に追記していただいた部分を含めて、情報提供いただきたいと思います。また、本日で今期の委員の期間が終わりますので、最後に委員の皆さんから一言ずつコメントをいただきたいと思います。委員会終了後、事務局より報告があるとのことですので、接続したままをお願いいたします。

それでは、議題1について事務局よりお願いします。

【事務局】

活動報告書の23ページ以降について説明

拡充したイソスミレ調査について説明

【溝渕会長】

23ページについて補足をお願いします。

【事務局】

はまなすフェスティバルとさけまつりのイベント時に合わせて、アンケートを実施しました。結果から、来館者のほとんどは札幌市からで、初めて保護センターに来た人がほとんどという結果になりました。さけまつりのアンケート手法が展示を見て答える形式にしたため、展示についてのご意見については、今後の参考となる内容をいただくことができました。

【溝渕会長】

今の件に加えて、35ページでクラフトについてありましたが、その部分も説明いただけますか。

【事務局】

来館者数の推移を35ページで報告しておりますが、合わせて36ページでは来館者の中から環境学習、はまなすフェスティバルに参加した人数、クラフト体験を実施した人数を比較する内訳を出しております。合わせると4割弱の人が、ただ来館したのではなく、海浜植物に関わるプログラムに参加している状況です。ただ来館したというだけでなく、体験をプラスした来館者を増やしていくのも必要ではという指標を出させていただきました。

【溝渕会長】

委員の皆様から、何かご意見等ありますか。

【長谷川委員】

29ページのモニタリングについてですが、具体的な業務内容ではないと感じます。もう少し調査結果や詳細な検討結果については、今後どこかで報告するのでしょうか。また、その報告は何年後などという明確な期間は設けているのでしょうか。

【事務局】

石狩海浜植物保護センター調査研究報告にまとめる予定です。本報告書の37ページにあるリストが、今までの報告となっております。PDF形式でセンターのホームページに掲載しています。何年後という明確な期日は設けていませんが、調査結果がある程度溜まった段階で報告しています。

【長谷川委員】

エゾチドリやエゾスカシユリの報告がありますが、行動計画があるように見えない。その部分についてはどうか。

【事務局】

年に一度開花調査をするという決めはありますが、毎年同じ場所というよりは別の場所で開花調査をしています。確かに保護センターの目的や目標に記述がないので計画性が薄い印象になるので、年度別に実行しているかなどの明記を検討させて頂きたいと思います。

【長谷川委員】

アクションプランに関係すると思いますが、該当する種や生息環境の記録をいつやって、どこはできなかったという評価がしにくいので、その点について明確にしてほしい。保護センターの運営として、調査に力を入れるのか、手を抜くのかについて検討ができる材料を具体的に書いてほしい。

【溝渕会長】

アクションプランに記載されている目標を抜き出す形でもよいと思いますが、今年度の文章については調査状況を実施したという部分を、もう少し書き込めたら良いのではと思います。

また、PDF文書による報告ですが、市民と共有する上ではEXCEL文書によるデータの共有など

の手法もあるかと思えます。望ましい方法について、委員の皆さんにご意見ををお願いします。

【西川委員】

長谷川委員と同じ意見です。報告書の中にモニタリングの毎年の結果や、これまでの傾向を概要でいいので載せてもらえないでしょうか。項目のⅠとⅢは詳しく書いてあるので理解しやすいですが、Ⅱはもう少し追記していただきたいです。アクションプランの関係についても巻末にあります。つながりが分かりにくいので工夫してほしいです。

27ページ5行目の観察園は～の内容について、見本植生区というのはモニタリング区のこと、見本調査区を目標に管理したということ述べたいのだと思いましたが、そうは取れない文章です。また、観察園で見せたい姿を明確にすると伝わりやすくなると思います。

33ページの表2-1のタイトルは、表2の項目の転記ミスだと思いますので、確認をお願いします。

【事務局】

調査報告の形式については、昨年度からかなり精査をしているところです。どこまでの内容を出したら、一般の方でもわかる内容となるか吟味した結果が、今の表記となっております。ただ、こちらの内容で分かりにくいという意見もありますので、一度検討させていただきたいと思えます。

【溝渕会長】

一般の方に向けた内容と専門的な方に向けた二通り作成することは可能でしょうか。

【事務局】

より専門的な方に対しては報告書を考えております。今回議事になっている活動報告書については、一般の方を想定しています。ただ一般の方が見ても分かりにくい内容であれば、修正する考えであります。

【溝渕会長】

調査報告だとリアルタイムでの報告ではなくなりますね。リアルタイムで、専門家の方に報告する手法があるか伺いたいです。

【事務局】

現段階で、調査のまとめは保護センターの閉館後となるので、保護センターの施設内では難しいと思えます。

【溝渕会長】

運営委員会の報告資料として、調査結果の報告を付けることは可能でしょうか。

【事務局】

委託事業の範囲となるので、この場ですぐに回答できませんので、検討させていただきます。

【溝渕会長】

中間報告でよいので委員会にも報告いただき、報告書にもある程度、記載があることが望ましいと思います。計画時も同様に、目的と手法を記載していただき、詳細は添付資料で説明できると思います

【松島委員】

調査データについてはある程度載せていただきたい。来館者数の推移は出ているので、こういった経年の変化が、植生にもないとコメントがしにくい。報告については、PDFの形式があれば良いかと思います。詳しい内容は問い合わせをしたら共有してもらえれば良いと思います。

【長谷川委員】

活動報告書なので、詳細な報告を出すのは合わないと思います。確かに西川委員や松島委員のおっしゃっている内容くらいは報告でもよいかと思います。委託している内容として報告書がある事実が大事なので、いつ報告されるか分からない論文よりも、年度ごとに報告書があるということ活動を報告書内で明記すれば良いかと思います。

【溝渕会長】

データについては、調査実施概要や中間報告など、議論ができる水準の内容を載せてほしいということでした。報告書への反映をよろしくお願いいたします。

【石山委員】

来館者数についてですが、一般来館者に関する世代別や月変動みたいなのが、分かるようであれば教えていただきたいです。

【事務局】

来館者については、手でカウントしているので細かい年代は分かりません。アンケートについては、報告書のとおりです。主観も入りますが、夏休みの時期が長くなったことにより、環境学習の受け入れが分散したので、7月に集中して受け入れがあったのですが、9月にも分散するようになりました。あとは、昔は夏休み中に海水浴場の利用者さんが、来館することもありましたが、現在はほとんどありません。

【石山委員】

今後可能であれば、その傾向が分かるとアプローチの仕方が、変わるかと思っの質問でした。

【溝渕会長】

はまなすフェスティバルは何月開催でしたでしょうか。

【事務局】

6月です。なので、来館者数が伸びています。さけまつりが9月の開催です。

【溝渕会長】

それでは他に質問がなければ、議題2にうつります。事務局より報告をお願いします。

【事務局】

令和8年度事業報告について説明。

【溝渕会長】

先ほどの意見もありますので、Ⅱのモニタリングについて、結果の反映もしていただきたいと思います。

【長谷川委員】

どう検討するか分かりませんが、ほぼ現状維持ですよね。適正管理とか、車両侵入や監視など管理手法は、状態が改善しているのかどうかに合わせて、検討はしないのでしょうか。普及啓発をするのは良いのですが、労力をどれだけかける必要があるのか、比較しても読めないです。優先的な問題点は何ですか。

【事務局】

日常業務とは別に力を入れる点で行くと、常設展の修正でしょうか。令和7年度に拡充した事業が多いので、引き続き現状維持するための事業計画にしております。

【西川委員】

矢印についてわかりにくいのは、年度の目標の根拠が明記されていないからだと思います。何が問題で、どのように解決する必要があるか判断がつかないので、根拠を記載していただきたいと思います。

【事務局】

活動報告書で書いておりますが、分かるように標記するように検討したいと思います。

【溝渕会長】

作業を増やすことになりましたが、大項目ごとに振り返りや課題を記入いただくのが良いかと思います。また、石狩浜の保全の方向性について触れていませんでしたが、項目ごとに指標や整理の仕方が変わると思います。また、自己評価を載せていただければと思います。

【長谷川委員】

この会議が運営委員会なので運営の話ですが、保護センターの役割について、どの仕事をするのか、期間はいつか、集客をどうするのか、専門家が基礎調査に対してもう少し意見するだとか、バランスを考えてコメントするのは難しいです。西川委員がおっしゃる問題点をあげて、対策を立てないと分からない。

また、保全に関して、立ち入りを制限するとか、オーバーツーリズムに対応する必要があるとか、砂浜の管理や交通規制について問題があるのであれば、優先する必要があると思います。問題点があれば、保護センターが今何をすべきなのか検討できるかと思いますが、全部現状維持なのは可能ならいいのですが、もっとやるべきだと思う部分もあると思うので、整理してほしいと思います。

【事務局】

保護区に関しては、条例に沿って監視をしています。状況に合わせた対応なので、予測というのができません。監視員さんの報告から対応しています。

どの業務に力を入れるかということですが、委託をしながら調査研究、普及啓発を合わせてしているので、調査については年変動を付けても良いかと思います。そういったことでは計画を見直す部分になりますが、現状そこまでの手は回っていませんので、現状維持としております。

【松島委員】

現状維持というのは、昨年度効果があって問題が起きてなければ現状維持でいいと思います。外来種など増えていたら不十分なので、拡充となるかと思います。現状として多くの事業がある中で、昨年度の経過も踏まえて、現状の認識があって報告になると思います。今のところ結果として良いのであれば、現状維持で良いのでしょうか。

【溝淵会長】

大項目Ⅱについて、今課題になっている、緊急に何か対応しないといけないことは何ですか。石狩浜の海浜植物保護という観点で課題が何か、センターはどう動くのかという課題は何でしょうか。

【事務局】

石狩浜で言いますと、海浜植物だけではなく、生物多様性が繋がって問題が起きているということでしょうか。普及啓発でいうと、前回は話題にありましたが交通機関がなくなるので、石狩浜にアクセスできる方法が限られるので、自然があるという認識が薄れるということが、出てくるのではと思います。

【溝淵会長】

「データに基づく保全対策」については、どのようなことが気になりますか。

【事務局】

毎年、調査結果が異なりますので、全く比較ができない点です。。詳細な結果については、委託先である植物ラボさんをお願いすることにしますが、希少種のアカモズを含めて、状況がどんどん変化しているということでしょうか。

【植物ラボ】

委託業務のことですが、報告書の末尾にある程度のデータを付けるということは、簡単にできると思いますので、市と相談の上で実行できるかとは思いますが。緊急性を感じていることは、海浜植生維持管理の蓄積という、観察園と再生園のセンター敷地内の限られた場所を見ている、管理の手を緩めると海浜植生は衰退していく、自生種を植えこんで外来種防除をしても難しいという実感があります。20年の間に外来種の増加による海浜植物がみられなくなっているのは大きく進んでいると思いますが、2、3年の植生調査ですと劇的な変化は生じていない状況です。そういった意味で象徴的な主としてイソスミレなので、保全という部分では保護センターでは優先的な種になるのかなと考えられます。細かい手法については、運営委員会とは違う場所での話ではないかと思います。

【溝淵会長】

「運営委員会とは違う場所」というのは、どういったイメージでしょうか。

【植物ラボ】

保全検討会議など有識者会議の場を想定しています。

【長谷川委員】

保護センターを今後どうするのか、位置づけはどのようなのでしょうか。石狩市民に公共機関として何を求められているのか、ニーズは大事だと思います。そういった意味では、周知や普及啓発に力を入れるべきだと思います。その点についてもう少しクリアにしてほしいです。公共機関がなくなるのは、かなり重要な話かと思います。イベントの際に臨時バスを出すとか、センター以外で普及啓発をするとか、それを考えるにも事業計画を力を入れて考えたほうがいい。公的な調査をする部分も必要だと思います。お金を付けて事業をするのであれば、マンパワーや金額、そこから配分をするなどが大事だと思います。また、度々出る生物多様性への方向転換は、もう少し整理する必要があるのではと思います。

【事務局】

保護センターの設立当初の目的が、海浜植物の保護増殖を目的としていますが、現状とあっているかということについては、引き続き見直していく必要があると感じています。それに合わせ事業の方針や、見合った予算要求など関連して出てくると思います。

【溝淵会長】

長谷川委員の意見も含めて、事業計画に反映いただければと思います。それでは他にご質問やご意見がなければ、今回で最後の委員会となりますので、委員の皆様から一言ずついただきたいと思います。

【松島委員】

生物多様性地域戦略が策定され、保護センターの活動について報告を見ても、多岐に渡っているのが分かります。全部やるのは大変だと思います。保護センターの役割をはじめ、有識者やNPO、石狩市役所の他部署との連携が必要となっていくかと思います。連携がさらに必要となると思いますので、引き続き一緒に模索できたらと思います。

【西川委員】

意見を出しておりますが、やはりマンパワーが足りていないと感じています。ただ石狩浜の自然は本当に大切に、それを保全していく拠点が保護センターなので、この体制を充実して欲しいと思っています。

【長谷川委員】

色々な関連会議に出ておりますが、地域戦略やアクションプランと違い、施設運営なので難しいと感じました。もう少しフラットな会話をできる場があると、もう少し良い施設になると思います。

【圓谷委員】

博物館施設の関係者ということもあり、関わらせていただきました。委員の皆さんがおっしゃる通り、博物館の経営には難しい部分があります。各年度の計画では、重点的に取り組む事業、通常どおり取り組む事業、ウェイトを落とす事業など、色をつけながら、大きな計画(目的)に向かって、最終的

には右肩上がりに推進するような計画を策定できるよう、ご協力させていただければ、と思っております。ただ、作るのが大変なので、通常業務をこなしながら運営委員会も開催いただき、ありがとうございます。海浜植物を見られる施設があるのは素晴らしいことですので、今後も継続できるように引き続き頑張っていたいただければありがたいと思います。

【氏家委員】

本校の1年生が授業でお世話になっております。私自身が運営委員会に関わって、初めて多くの方に支えられて、石狩浜を守っているということを知りました。そういったことを一度生徒に伝えたことがあります。石狩浜を守るのは石狩市民ができることなのではと思いますので、こういった活動を生徒たちが肌で感じられるような機会があれば、保全に繋がると思っています。

【石山委員】

私にとっては石狩浜は故郷でもあり、特別な思いもある場所です。そういった場所にたくさんの方が関わっている、考えていくと思う機会でした。来年以降も市内の児童発達支援事業者さんと連携を取りたいと思っていますので、その際はどうぞよろしくお願いいたします。

【鈴木委員】

僕ら市民団体として何か協力できることはと考えながら参加していました。困っていることや、手を貸してほしいこと、子どもたちに広げたいみたいな内容があれば知恵は出せるし、協力も、イベントを組んだりできると思います。もう少しざっくばらんに、話ができると良かったなと思いました。

【溝淵会長】

保護センター事業が、地域戦略やアクションプラン、審議会や有識者会議など関係する要因が増え、こうした過渡期に事務局の皆さんと模索し、整理する2年間であったかと思えます。まだまとめきれておらず申し訳ないですが、これからもセンター、センター事業の位置付けについて、検討していければと思います。2年間ありがとうございました。それでは議題を全て終了いたしましたので、事務局にお返しします。

【事務局】

長時間に渡りご審議賜りましてありがとうございました。

本日の議事録につきましては、事務局で作成後、各委員の皆様にご確認いただいたのちに確定したいと存じます。

なお、本日の各委員から頂いたご意見につきましては、今後の保護センター運営に活かしていきたいと考えておりますので、今後とも、お気づきの点などがありましたら、随時、事務局の方までお寄せください。

2年間、保護センター運営委員会にご協力いただきましてありがとうございました。令和8年3月31日をもちまして、今期の任命が終了となります。改選に向け個別にご連絡する場合もございますので、ご了承いただけますと幸いです。

最後になりますが、事務連絡をさせていただきますので、本運営委員会を終了したのちに説明をいたしますので、委員の皆様はそのままお待ちください。

傍聴にご参加の皆様は、ご退出をお願いいたします。

これで令和7年度第2回石狩浜海浜植物保護センター運営委員会を終了いたします。

ありがとうございました。

議事録を確認しました。

令和8年 3月 2日

石狩浜海浜植物保護センター運営委員会

会長 溝 渕 清 彦 